

- 1 <震感> 「あー…あー…あー…」
- 2 <驚つて顔を赤らめた感じ> 「えふ…んふふふ…」
- 3 【皿窓ガラスのSE】
- 4 <心拍が速くなる感じ> 「えへ、えへ…えへ…」
- 5 「うわわわ…えへ…」
- 6 【ドキドキ】
- 7 「わのわの…あひだのに…えへ…」
- 8 「えいわおゆゑが起つて…ふあ…」
- 9 「えんじ…おの、震わせ…」
- 10 「あー…あー…あー…」
- 11 【震感ドドドドドドドドドドドドドドドドドド】
- 12 「あー…あー…あー…」
- 13 「あー…あー…あー…」
- 14 【鼓膜経週5秒ほど開け】
- 15 <震感が止まらない感じ> 「えへ、えへ…」
- 16 「ふあ…ふあ…震た…」
- 17 「えー、今皿窓ガラスの皿窓がこう…」
- 18 「ぐは…ぐは。」
- 19 「7盤…22…分?」

20 「あつ…23分になつて…」

21 <こゝから田が一気にわかる> 「...アラジやなア...アア...」

えつ！？

「ハルハルハルハル……なんでなんでなんで……」

いや、ナビ
あります。

二二二

「実家の時の癖で……」ばかばかばかばかばかばかばかばかばかばかばかば

か

卷之三

7
פְּנֵי־זָהָב
בְּרִית־מָשֶׁיחַ

卷之三

29

「服はなんでもいい！髪は電車でといて……」

「朝ご飯は……あつ！ 昨日買った牛乳とパンが！」

「これを食べながら…よし、これならギリギリ…」

【時間経過3秒ほど開ける】

はあ！ はあ！ はあ！ はあ！ はあ！

35 【走るSE】&【スイカぴっす】SE (マナカでもいい)】

36 「ふううううう…発車3分前、間に合った…」

37 「危なかった…」れを逃すと次は20分後だつたから…」

38 「いやーともあれよかったです、あとは電車で休息を…」

39 【お腹のSE】

40 「んんっ…」

41 「うー朝から走ったからかな、お腹が変な感じ…」

42 「あとは大学に着くまで席でゆっくりしてよつ…」

43 「それにしても語の先生は厳しすぎるよ…10分以上の遅刻は欠席

扱いなんて…」

44 「やのくせ必修科目だし…まあテストはないのはありがたいけど…」

45 「伸びしてね」「んーともかく」の電車に乗れば間に合つたも同然、あとはこのボサボサの髪を直して…」

46 【時間経過5秒ほど開ける】

47 【電車のSE】

48 「んっ、んんっ…」

49 【お腹のSE】

50 「あう…んんっ…」

51 「お、おかしいな……なんかお腹が……んんっ……」

52 「うう……」の感じ、消化とかそっちじゃないよね……」

53 「なんでだらう……心当たりと『ええば、朝飲んだ牛乳とパンへりこし

か……』

54 「一気に飲んだから……いや、飲んだあと走ったから……？」

55 「……あと、よくよく思い出すと昨日買った牛乳とは別の方を飲んだ気が……」

56 「……まづい、心当たりしかない……」

57 「あう……」

【お腹のSE】

59 「うう……やらかした、胃は強い方だつたけど流石に無茶したかな……」

60 「んっ、んんっ……」

61 「大学についたらすぐトイレにいこう……授業まで若干の余裕は……んっ……」

【お腹のSE】

63 「うううううううう……」

64 「お腹を壊すなんていつ以来だる……確か高校生の……あう……」

65 「くうう……到着まで結構かかるし、これはなかなか辛いなあ……」

66 「はあ…はあ…んんつ…」

【時間経過5秒ほど開ける】

68 「はあ…はあ…」

【お腹のSE】

70 「はぐう…んんつ…」

71 「あ、あれ…なんで、こんな急に…あう…」

72 「違和感を感じてから、また數十分も…こう…」

73 「…つ…いつ…まつ…」

74 「ふう…ふう…んんつ…」

75 「はああ…はあ…ふううう…」

76 「い、いま…じるじるって…かなり…」

77 「はあ…はあ…この感じ、なんだがすごい嫌な予感がする…」

78 「…ちょっと、ググってみて…」

79 「んつ、んんつ…」

【スマホぽちぽちSE】

80 「牛乳 下す 急に…」

82 「なになに…うつ、やっぱり一気飲んだり直後に走るのはよくない

83 「んだ…」

ヘヨミ シュウとうふたい× 「あとは…乳糖不耐…?」

84 「大人になつてから牛乳を飲むと、下す場合が……」

85 「……確かに、昔は何本飲んでも平氣だつたけど、最近は違和感を感じるよに……」

86 「あとは当たり前だけど傷んでたりしたら……」

87 「……やばいって、これ下す条件のフルコースじゃん……」

88 「あう……とかいってたらまたあ……」

89 「うう……なんかこれみたら余計に意識しちゃって……」

90 「はあ……はあ……あう……」

91 「うう……どうしよう、どんどん悪化してきたし、一旦降りてトイレに……」

92 「……けど、ここで降りた瞬間、一限の遅刻が確定、それすなわち単位を落とすことになる……」

93 「うう……必修言語を落とすのは正直かなりきつい……ここで落とすと来年一年生と一緒に取る羽目に……」

94 「あぐう……けど、お腹を壊したまま電車に乗るのも……万が一を考えると……」

95 「うぐうう……私の馬鹿、こういう時のために余裕をもつて出席すべきだったのに……はぐう……」

96 【電車がゆっくり止まり始める】

97 「はつ...アリババが教えてる間に...」

98 「特急だから、降りるなり」の駅が最後...」

99 「ううう...えいじょ、えいじょ...」

100 【ここから分岐、心の声も追加する。ルートA-1へのまほ乗り続

たる】

101